

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：8/27～8/31

・ 8/27(月)

今日はアジア大会 2018 ジャカルタの放送のため、NEWS23 はおやすみでした。

・ 8/28(火)

今日はアジア大会 2018 ジャカルタの放送のため、NEWS23 はおやすみでした。

・ 8/29(水)

障害者雇用の水増し、米有力紙「日朝高官接触」、沖縄県知事選挙、フリマサイトと文科省などのトピックが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、特に問題は見られませんでした。また、障害者雇用の水増し、米有力紙「日朝高官接触」、フリマサイトと文科省のトピックの報道を受けての検証者の所感を記しました。

・ 8/30(木)

北朝鮮非核化、自民党総裁選、原子炉もんじゅ廃炉問題、トリチウム汚染水で公聴会、中国産経記者取材拒否問題、辺野古埋め立て承認撤回、野田総務大臣総裁選出馬断念などが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、原子炉もんじゅ廃炉問題については他日の報道と併せての判断が必要であり、今後も注視する必要があると考えられるものでした、また、自民党総裁選についての報道では検証者の所感を記しました。

・ 8/31(金)

安倍首相が中国公式訪問で大筋合意、辺野古基地、各省予算要求、野田総務相は出馬断念などが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、各省予算要求については高く評価できる点と問題が混在したものでした。また、各省予算要求の報道については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月27日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：		
報道トピック一覧 アジア大会 2018 ジャカルタの放送のため、NEWS23 はおやすみ		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨		
検証者所感		

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月28日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：		
報道トピック一覧 アジア大会 2018 ジャカルタの放送のため、NEWS23 はおやすみ		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨		
検証者所感		

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月29日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：障害者雇用の水増し、米有力紙「日朝高官接触」、沖縄県知事選挙、フリマサイトと文科省		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン故障の病院で5人死亡 ・体操協会の問題 ・障害者雇用者水増し ・米有力紙「日朝高官接触」 ・空飛ぶ車 ・沖縄県知事選挙 ・留置場脱走の男 ・スポーツ報道 ・23Today <p>エアコン故障の病院で5人死亡 体操協会の問題 山手線30番目の新駅が公開、2020年改行へ建設進む バスケ四選手、買春で処分 フリマサイトと文科省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用の水増し：結論→特に問題はなし <p>中央省庁での障害者雇用率の水増しは自治体にも広がっていたこと、障害者手帳などを確認せずに雇用したケースや水増しがあったかどうかを全国の都道府県や教育委員会・警察本部にJNNが取材した結果少なくとも30の府県で不適切な雇用が行われていたことが分かったということが伝えられた。またナレーションでは「算入には、不自然な点も見られます。軽度の難聴や緑内障の人に加え、心臓や腎臓の調子が悪い人、糖尿病の人などが、カウントされていたというのです」とも説明されていた。</p> <p>また地方公共団体や中央省庁のコメントとして、黒岩祐治（神奈川県知事）の「本当にお恥ずかしいこと、県民の皆様におわびしたい」や東高士（石川県総務部長）「意図的なものではないと考えているが（ガイドラインの）認識が不十分であったことは非常に反省している」、麻生太郎（財務相）解釈の仕方が違っていたということに端を発していたんだと思う」、齋藤健（農水相）「どうしてこういうことが起こったのかふに落ちないところもある」というコメントが取り上げられると共に、所管省庁の責任者である加藤勝信（厚労相）の「故意であるのか、或いは誤解に基づくものなのか、これは今の段階で把握することは困難だと考えている」というコメントも取り上げられていた。</p> <p>また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。</p>		

雨宮「障害者雇用の水増し問題ですが、これ単なる拡大解釈だというのがとちょっと腑に落ちないのですが」
星「そうですね、そもそも役所はですね企業などに対して障害者の雇用などを指導する立場なんですよ。そこがこういうごまかしをやってきたという非常に問題だと思います。中央省庁の人事課長をやった人に聞いてみたのですが、やはりその関心があるのは雇用率という数字だけをクリアすればいいと思っていたっていうのです。その中身についてはあまり関心がなかったっていうんですね。まああの、障害者がですね、安心して働ける場を確保するというのがこの雇用促進法の本質なんですよ。その精神、原点に基づいてね、まず検証をやる、そして雇用を増やす、ということをやってもらいたいですね。」

このトピックに当てられた時間は 229 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・米有力紙「日朝高官接触」：結論→特に問題なし

ワシントン・ポストが日本と北朝鮮の当局者が先月極秘に会談したと報じたこと、一方、菅官房長官はコメントは控えたいとして、事実関係の確認を避けていることが伝えられた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられていた。

雨宮「日朝は極秘に接触していたわけですよ。それをアメリカのワシントン・ポストの報道で明るみになるってどういうことなのでしょう」

星「そうですね、これはアメリカ政府がこの情報を把握しているからなんですよ。ワシントン・ポストで詳細に報道しているんですけども、どうやらアメリカ政府は北朝鮮の高官の動向を相当綿密にフォローしているんですよ。その過程でどうも日朝の極秘接触もキャッチしたと、そういう経過のようですよ。」

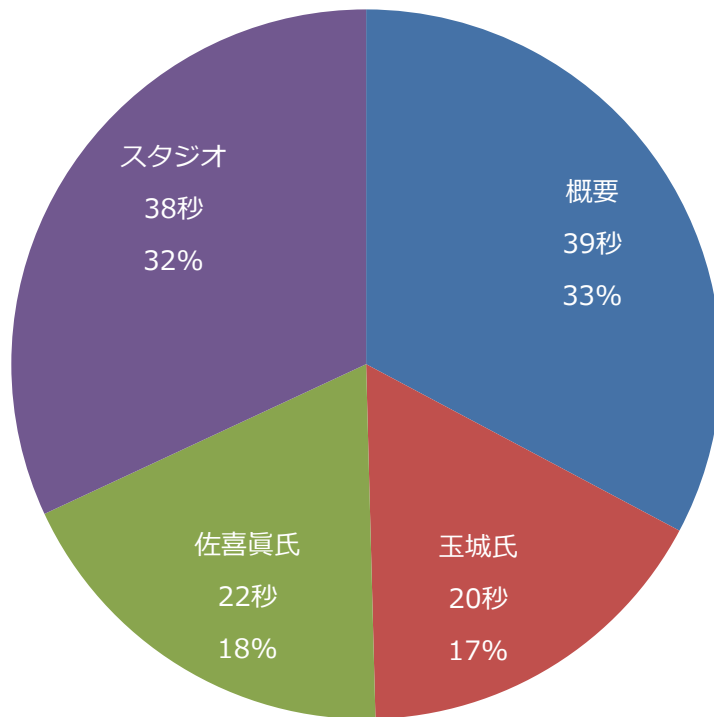
駒田「今後のこういった日朝の接触ですとか交渉、どういう影響が出てきますか？」

星「日本は拉致問題について日朝交渉をやりたいというスタンスなんですけども、アメリカは今やっぱり何が何でも北朝鮮の非核化最優先、ということなんで日本の独自の動きは愉快ではない、不快感があるんですよ。アメリカは最近ポンペオ国務長官の訪朝が中心になって全体が滞って停滞しているわけですよ。一方で 11 月の中間選挙までには成果を出したい、ということなんで北朝鮮もそれを見通しているのでもう 9 月は米朝の激しいやり取り、駆け引きが続きそうなので日本は見守る立場ということになると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 207 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・沖縄県知事選挙：結論→特に問題なし

翁長知事の死去に伴い来月 30 日に行われる沖縄県知事選挙について報じられた。このトピックでは概要の説明、オール沖縄陣営、自民党陣営、スタジオでのやり取りという 4 つの場面に大別されそれぞれの場面の時間配分及び比率は以下の通りであった。



玉城氏については玉城氏（沖縄県知事選に正式に出馬表明、衆議院議員）の「しっかりと翁長知事の遺志を引き継ぎ、辺野古新基地建設阻止を貫徹する立場であることをここに表明いたします。」という発言が取り上げられ、ナレーションで「玉城氏は普天間基地の辺野古への移設阻止をはじめとする翁長知事の政策を継承していくと強調。」と説明されていた。

佐喜眞氏については佐喜眞氏（前宜野湾市長）の「米軍基地の返還を絶対に実現しなければならないという強い決意」という発言が取り上げられ、既に立候補していることも伝えられた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた

雨宮「佐喜眞氏と玉城氏の事実上の一騎打ちの構図ですね」

星「そうですね、この知事選と並行して沖縄県は辺野古の埋め立て承認の撤回をする予定なんですけども、まさに辺野古をめぐる政治決戦になるんですが、考えてみると安全保障の中核をなす話ですよ、米軍基地の問題は。こういう問題の選択をですね、沖縄県の人々に強いていくっていうのは酷なところもあるんですよ。だから今までの辺野古をめぐるの国政の在り方どうなったのかな、ということも検証してみる必要があると思いますね」

このトピックに当てられた時間は119秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・フリマサイトと文科省：結論→特に問題なし

フリーマーケットサイトを運営するメルカリなど大手3社が読書感想文や自由研究など学校の宿題を出品を禁

止することで文部科学省と合意をしたこと、3社は出品を見つけ次第削除しているということが伝えられた。このトピックに当てられた時間は秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・ 障害者雇用の水増し

障害者雇用の水増しとして「軽度の難聴や緑内障の人に加え、心臓や腎臓の調子が悪い人、糖尿病の人などが、カウントされていた」ということを不自然な点に挙げていた。確かにこの程度では障害者手帳を取得できないのかもしれないが、それでも健常者に比べてハンディキャップを背負っているというのは否めないだろう。そもそも障害者と健常者の間には明確な境界が存在するのかそれとも境界はグラデーションになっているのか。もし、グラデーションになっているのであれば、一定の重度で障害者という枠組みを作ることが、ハンディキャップを抱えながらもそうした枠内に入ることができず、障害者の受けられる種々の優遇措置から排除され、他方でハンディキャップを抱えていない人との競争・競合を余儀なくされることで、政策的に新たな弱者が作られてしまう恐れがあるのではないだろうか。

スタジオでの議論は障害者とはなんぞや、あるいは障害者と健常者はどこで区分されるのかという点についての切り込みが甘く障害者雇用という存在そのものを是として議論が展開されているような印象を受けた。

・ 米有力紙「日朝高官接触」：結論→特に問題なし

米中関係や米朝関係などアメリカや日本と東アジア諸国の関係については日本が静観していると「蚊帳の外」と評されることも多い中で、今回星キャスターが「どうも9月は米朝の激しいやり取り、駆け引きが続くそうなので日本は見守る立場ということになると思いますね」とコメントしたという事実は記憶にとどめておく価値のある事実だと考える。

・ フリマサイトと文科省

昔から学校の宿題を親が手伝うだとか、夏休みの宿題を手際良くさばくためのテクニックがコミュニティの中で伝えられるなどという話はあっただろうが、フリマサイトがそうした場になりつつあったというのは驚きを感じた。

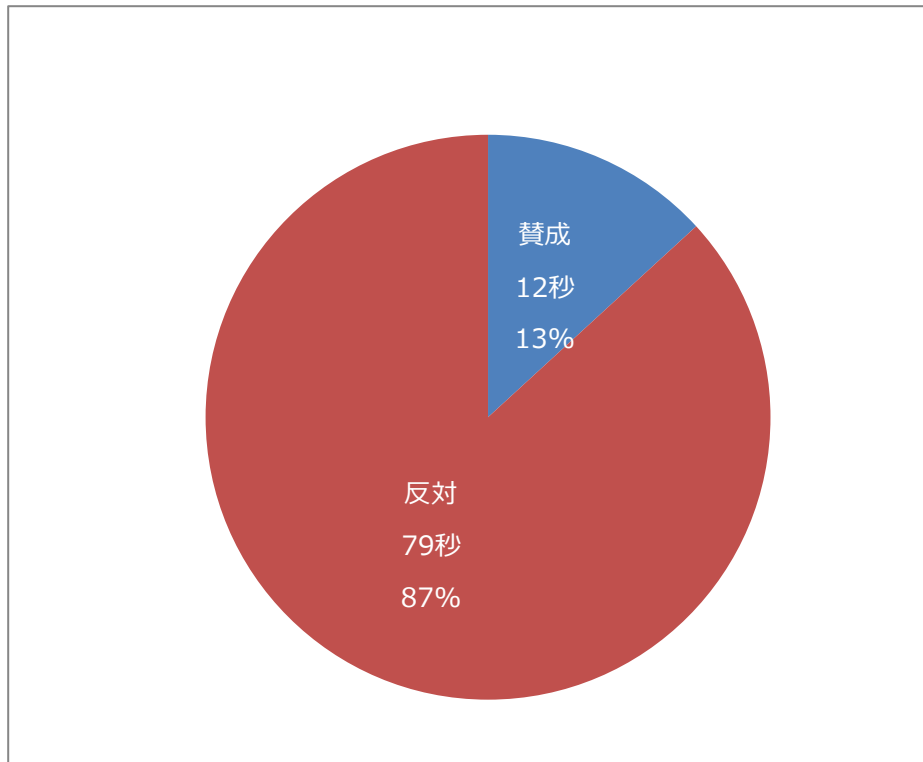
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月30日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：・北朝鮮非核化、自民党総裁選、原子炉もんじゅ廃炉問題、トリチウム汚染水で公聴会、 中国産経記者取材拒否問題、辺野古埋め立て承認撤回、野田総務大臣総裁選出馬断念		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・体操女子パワハラ問題 ・北朝鮮非核化 ・自民党総裁選 ・原子炉もんじゅ廃炉問題 ・里親制度 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> トリチウム汚染水で公聴会 英仏漁船衝突 中国産経記者取材拒否問題 辺野古埋め立て承認撤回 野田総務大臣総裁選出馬断念 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮非核化→結論：放送法第四条の観点からは問題なし <p>北朝鮮の非核化に向けトランプ大統領は交渉が停滞している原因は中国にあると批判。これに対して中国、北朝鮮が反発し互いの思惑がぶつかり合っている状況を伝える内容。またアメリカ国務省の報道官であるナウアト氏が29日に先週北朝鮮担当の特別代表に就任したビーガン氏が数週間以内に日本や韓国など東アジア地域を訪問する見通しであるとの情報も報じられていた。なおこのトピックスの報道時間は134秒で特に問題は見られなかった。</p> ・自民党総裁選→結論：放送法第四条の観点からは問題なし <p>自民党総裁選で優勢が伝えられている安倍総理に対する石破茂元幹事長の陣営についての報道。8月30日の朝に都内のホテルで石破氏支持を決めた参議院竹下派の吉田博美幹事長と会談を行ったことが伝えられ、会談後石破氏は記者の質問に対して「参議院平成研(参院竹下派)一致協力して全力で応援する。さわやかに明るく国民の皆さん方の前に骨太の政策論争をして、終わった後は一致結束だ。ということでやろうというお話。で全てです。」と応じていた。またこの会談において吉田氏が石破氏に「安部さん側はまさに大阪桐蔭のような陣営ですよ。うちはまさに金足農業のようだと金足農業のように明るく爽やかに戦いたい。」とのアドバイスがあったことも報じられた。</p> 		

このように劣勢の石破氏を支持する参議院竹下派についてコメンテーターの星浩氏は「このグループってもととその青木幹雄さんという今引退をされている隠然とした力を持っている人たちがまとめてきたというグループなんですが、業界団体とも非常に縁が強くですね、そういう意味でその安部さんの進めてきた経済政策に対してやや批判があるんですね。特にその消費増税を2回延期しましたからね。それで社会保障を抑えたりしていますので、その不満がその竹下派、参院竹下派に結集しているって面があって、実は参院の中でも同調する議員は少なくないんですね。これはもしかすると参議院総裁選挙後のいろんな影響が出てくる可能性になるかもしれませんね。」とコメントしていた。また報道中、速報で野田総務大臣が総裁選の推薦人が集められなかったため立候補を辞退するという旨が報じられた。このトピックスの報道時間は249秒で賛否が分かれる点はなかった。

・原子炉もんじゅ廃炉問題→結論：他放送日との総合的な判断が必要

福井県にある高速増殖炉もんじゅが廃炉に向けた最初の工程である核燃料棒の取り出しが始まったことについて報じられた。同報道は277秒で増殖炉について否定的な意見を反対、肯定的な意見を賛成として集計したところ賛否と時間配分は以下の通りになった。



反対意見としては原子力資料情報室の伴英幸共同代表による燃料棒取り出しの危険性についての「洗浄作業のところが一番神経を使う所だと。全部が取りきれないので最後は燃やすんですね。燃やす時には水素が出てくることになるので、たまらないようにしないといけない。パーズ(除去)をしていかないといけないんだけど、そこで下手をして水素による爆発が起きてしまう可能性もあるし。」「機器の解体のところでも必ずどうやってそのナトリウムを洗浄と言うか燃やして洗浄してそれで安全な形にして解体するのかっていうそういう課題がずっとつきまとうと思います。でどの段階でも失敗はできない。」というコメントが伝えられた。また市民とインタビュー

一の以下のようなやり取りがあった。

市民「なんかすごい税金の無駄遣いですね。詳しいことはわかりませんが何かびっくりしましたね。」

アナ「解体まではそれくらいかかる。」

市民「それかて莫大なお金かかるでしょ。」

肯定的な意見としては同じく市民へのインタビューで「なくなるとね、敦賀はちょっと廃れちゃうんでね、職がなくなっちゃう人がいるんでね、ちょっとそれはどうかなと思います。あつていいのか悪いのか分かりませんが。」と報じられていた。

全体的に否定的な意見が多いのは留意点ではあるものの市民に対してのインタビューでは賛成意見を伝えようとする一定の努力も認められ他放送日との総合的な判断が必要であると結論する。

- ・トリチウム汚染水で公聴会→結論：放送法第四条の観点からは問題なし

福島第一原発の汚染水を処理した後に残った放射性物質トリチウムを含んだ水について国が公聴会を開き海洋放出が短期間かつ低コストであると結論したことについて住民代表や漁業関係者が反対したことについての報道。このトピックスは 41 秒で特に問題は見られなかった。

- ・中国産経記者取材拒否問題→結論：放送法第四条の観点からは問題なし

北京で行われた外務省の秋葉事務次官と中国の王毅外相の階段の代表取材に産経新聞の参加が認められず日本政府が抗議。中国政府は 8 月 30 日夕方の会見でその講義について受け入れられないと反発したことが報じられた。このトピックスは 26 秒で特に問題は見られなかった。

- ・辺野古埋め立て承認撤回→結論：放送法第四条の観点からは問題なし

普天間基地の移設問題をめぐり沖縄県は名護市辺野古の埋め立て承認を撤回する方針を固めたことについての報道。報道時間は 21 秒で放送法上特に問題は見られなかった。

- ・野田総務大臣総裁選出馬断念→結論：放送法第四条の観点からは問題なし

野田総務大臣が総裁選出馬を断念したことについての報道。前述の石破氏陣営での速報を補足する内容で特に賛否が分かれる点は見当たらなかった。報道時間は 22 秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・自民党総裁選

報道自体には特に賛否が分かれる点は見られなかったものの総裁選を報じる上で対立候補にのみ絞った報道

は視聴していて気になった。劣勢として伝えられる石破氏を支えている参議院竹下派についての報道は一定の需要があると思われるがその中で公平性を保っているか今後留意する必要があると考える。

またスタジオでの星キャスターの「このグループってもともとその青木幹雄さんという今引退をされている隠然とした力を持っている人たちがまとめてきたというグループなんです、業界団体とも非常に縁が強くてですね、そういう意味でその安倍さんの進めてきた経済政策に対してやや批判があるんですね。特にその消費増税を2回延期しましたからね。それで社会保障を抑えたりしていますので、その不満がその竹下派、参院竹下派に結集しているって面があって、実は参院の中でも同調する議員は少なくないんですね。これはもしかすると参議院総裁選挙後のいろんな影響が出てくる可能性になるかもしれませんね。」というコメントには違和感を覚えた。

参院竹下派は引退してなお隠然たる力を持つ「かつての参院のドン」青木幹雄氏がまとめているということ、業界団体とも非常に縁が強い、という点はたしかにその通りである。

では「青木幹雄さんという今引退をされている隠然とした力を持っている人たち」の「たち」とは具体的には誰のことを指しているのだろうか。「たち」と影響力を共有していたのではなく、青木氏の他には参院に大きな影響力を行使できる政治家がいないからこそ、政界で青木氏が重きをなしたのではないだろうか。

また、参院竹下派の特徴として業界団体との縁の強さを挙げていたが、参議院とくに比例選出議員の多くは業界団体をバックに持つ議員でありこれは参院竹下派に特有のものではない。そうした中で、業界団体との縁、穿った見方をすれば「しがらみ」とも言えるのだろうが、が竹下派に特有のものであるかのようにコメントするのはどうということなのだろうか。

さらに、業界団体と縁が強いことを背景とした安倍総理の経済政策への批判として消費増税の延期と社会保障の抑制というのが、今ひとつ繋がらなかった。そもそも消費増税というのは業界団体にとってもあまり歓迎できる話ではないだろうし、むしろ業界団体からするとかつての小泉改革の際に旧竹下派が抵抗勢力になったように、規制改革のほうにこそ抵抗があるのではないだろうか。

どうも、消費増税をしないことが業界団体にとっての不満であるかのような説は腑に落ちないところがある。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月31日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：安倍首相が中国公式訪問で大筋合意、辺野古基地、各省概算要求、野田総務相が出馬断念		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安倍首相が中国公式訪問で大筋合意 ・猛暑一転各地で大荒れ天気 ・【学校のモンダイ】学校がつらい君へ 「しょこたんからのメッセージ」 仮面相談会 ・日本体操協会でのパワハラモンダイ ・辺野古基地 ・各省概算要求 ・ネット依存の中高生 93 万人 ・スポーツ報道 ・23Today 安倍首相が中国公式訪問へ大筋合意 ゲリラ雷雨 大阪の脱走囚に似た男の通報、パトカー追跡の高校生死亡 野田聖子総務相が総裁選出馬を断念 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安倍首相が中国公式訪問で大筋合意：結論→特に問題なし JNNの取材により、安倍総理が10月に中国を公式訪問することで日中の中で大筋で合意したこと、首脳会談は日中平和友好条約発行から40周年となる20日を軸に最終調整しているということがわかったとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は81秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。 ・辺野古基地：結論→特に問題なし 沖縄県は今日、普天間基地の移設に伴う名護市辺野古への埋め立て承認を撤回したと発表したこと、政府はこれに対して法的措置を講じる方針であるとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は秒で、放送法の観点からは特に問題は見られなかった。 ・各省概算要求：結論→評価できる点も問題点もあり 来年度予算について、各省庁からの概算要求が今日締め切られ、一般会計の総額が102兆円台になる見通しで5年連続で100兆円を超え過去最大となった2016年度を上回る可能性が高まっているとのこと、具体的には高 		

齢化に伴って社会保障費が更に増えることから厚生労働省の要求額が過去最大に膨らんだほか、地上型の新型迎撃ミサイル、イージス・アショアの購入費用などで防衛省も過去最大の要求額であると伝えられた。

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。

雨宮塔子「財政事情が厳しいのに予算額はどんどん膨らんでいく。」

星浩「そうですね、まあ社会保障がどうしても伸びてしまうんですけども、例えばそのイージス・アショアに2000億円とかね、そういう防衛費の拡大が果たして必要なのかどうかという疑問も出てきますよね。それとまあ100兆円規模になるんですけども3割は新しい借金でこれ子どもや孫の世代の負担になるということです。一つ心配なのは財務省が文書改竄などでかなりこ弱っていますのでね、その本当に査定ができるかどうかなんですけれども、やはりその無駄な予算には毅然とメスを入れてもらいたと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は74秒だった。

財政については現在の政権が緊縮路線であるという議論も一部では見られる中で、過去五年間の予算が100兆円を超えていることなど、財政規模の事実を示した点は評価できるが、スタジオでの星キャスターの発言については構造的に拡大を続ける社会保障費を聖域扱いする一方でイージス・アショアの導入など政策的な経費に対しては「必要かどうか疑問」などと述べており、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」という点ではやや不十分なものであった。

・野田総務相が出馬断念：結論→特に問題なし

野田聖子総務相が自民党総裁選への出馬を断念したこと、これに伴い総裁選は安倍総理対石破元幹事長の一騎打ちの構図となるということが伝えられた。このトピックに当てられた時間は20秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・各省概算要求

社会保障費の拡大の要因として高齢化が上がっていた一方で、スタジオで星キャスターは「3割は新しい借金でこれ子どもや孫の世代の負担になる」と指摘していて、確かに国債を発行し続け累積債務が積み上がることが将来世代にとって負担になるという見解は妥当であると思うが、そもそも将来世代の負担とはどういうことなのだろうか。社会保障については星キャスターは「まあ社会保障がどうしても伸びてしまう」と述べていたが、このように恒常的な支出が拡大していくことで、他の政策へ割り当てるリソースが著しく制限されてしまうことも将来世代にとっては政策的選択肢が制限されることという意味では大きな負担になるのではないだろうか。

また、国債への依存度が三割もある中で高齢化を理由に社会保障費の拡大がなし崩しに行われているが、日本社会において高齢者が将来に渡って富を生み出していくという期待はどの程度あるのだろうか。少なくとも借金をするにあたっては、そうした借金によって資金調達を行った結果として可能になる選択肢を取ることが将来的にどの程度の資金回収可能性があるのか、という点に注意が払われることなく、現状の資源配分の水準を維持し

NEWS23 週刊報告 詳細版

ようとする発想に、貧乏から抜け出せないケースの典型的な思考を垣間見てしまったような気がした。

やはり、財政を議論する上では現状の分配や社会保障を聖域視せずに忌憚のない議論こそが必要ではないだろうか。